

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 対象学年

小学校第6学年、支援学校小学部第6学年の全児童＜大阪府（公立）実施数 1,000校 74,481人＞
 中学校第3学年、支援学校中学部第3学年の全生徒＜大阪府（公立）実施数 469校 73,954人＞

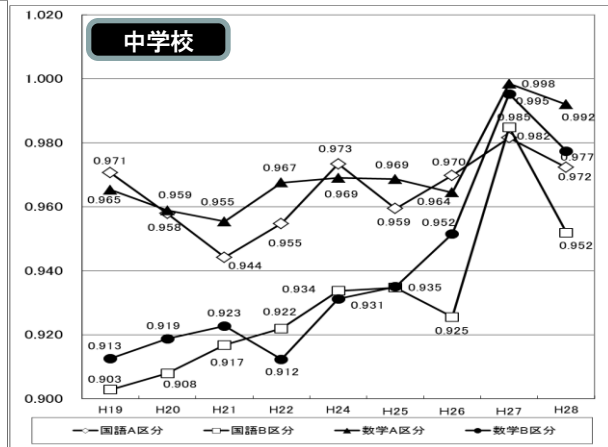
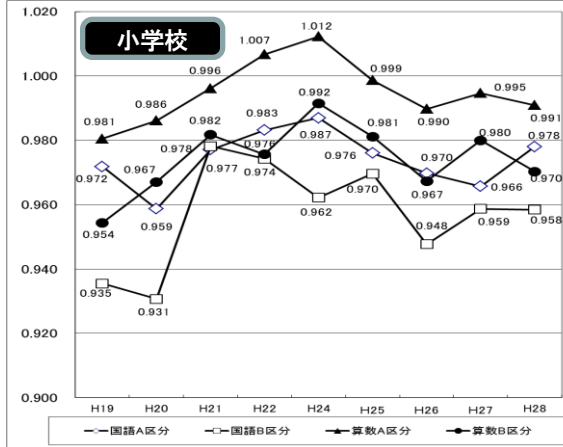
(3) 調査内容

- ① 教科に関する調査（国語・算数・数学）
 - ・主として「知識」に関する問題（国語A、算数・数学A）
 - ・主として「活用」に関する問題（国語B、算数・数学B）
- ② 質問紙調査（児童生徒に対する調査、学校に対する調査）
- (4) 実施日 平成28年4月19日（火）

職種・教科・区分別 正答率比較／対全国比経年比較

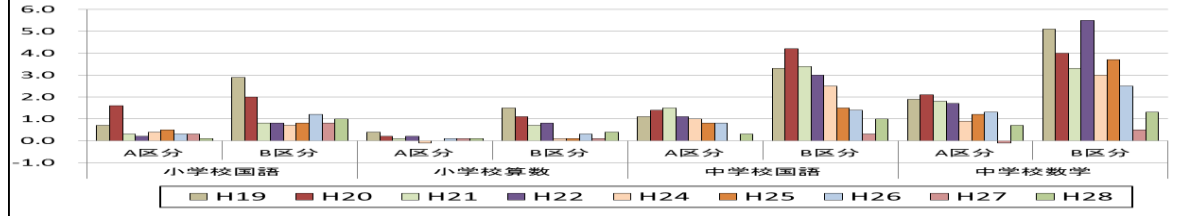
※H22、H24は抽出調査

	H19			H20			H21			H22			H24			H25			H26			H27			H28			
	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	
小国	A区分	78.4	81.7	-2.3	62.7	65.4	-2.7	68.3	69.9	-1.6	81.9	83.3	-1.4	80.5	81.6	-1.1	61.2	62.7	-1.5	70.7	72.9	-2.2	67.6	70.0	-2.4	71.3	72.9	-1.6
	B区分	58.0	62.0	-4.0	47.0	50.5	-3.5	49.4	50.5	-1.1	75.8	77.8	-2.0	53.5	55.6	-2.1	47.9	49.4	-1.5	52.6	55.5	-2.9	62.7	65.4	-2.7	55.4	57.8	-2.4
小算	A区分	80.5	82.1	-1.6	71.2	72.2	-1.0	78.4	78.7	-0.3	74.7	74.2	0.5	74.2	73.3	0.9	77.1	77.2	-0.1	77.3	78.1	-0.8	74.8	75.2	-0.4	76.9	77.8	-0.7
	B区分	60.7	63.6	-2.9	49.9	51.6	-1.7	53.8	54.8	-1.0	48.1	49.3	-1.2	58.4	58.9	-0.5	57.3	58.4	-1.1	56.3	58.2	-1.9	44.1	45.0	-0.9	45.8	47.2	-1.4
小理	A区分																											
	B区分																											
中国	A区分	79.2	81.6	-2.4	70.5	73.6	-3.1	72.7	77.0	-4.3	71.7	75.1	-3.4	73.1	75.1	-2.0	73.3	78.4	-3.1	77.0	79.4	-2.4	74.4	75.8	-1.4	73.5	75.8	-2.1
	B区分	65.0	72.0	-7.0	55.2	60.8	-5.6	68.3	74.5	-6.2	60.2	65.3	-5.1	59.1	63.3	-4.2	63.0	67.4	-4.4	47.2	51.0	-3.8	64.8	65.8	-1.0	63.3	66.5	-3.2
中数	A区分	69.4	71.9	-2.5	60.5	63.1	-2.6	59.9	62.7	-2.8	62.5	64.6	-2.1	60.2	62.1	-1.9	61.7	63.7	-2.0	65.0	67.4	-2.4	64.3	64.4	-0.1	61.7	62.2	-0.5
	B区分	55.3	60.6	-5.3	45.2	49.2	-4.0	52.5	56.9	-4.4	39.5	43.3	-3.8	45.9	49.3	-3.4	38.8	41.5	-2.7	56.9	59.8	-2.9	41.4	41.6	-0.2	43.1	44.1	-1.0
中理	A区分																											
	B区分																											



職種・教科・区分別 無解答率 対全国差経年比較

	H19			H20			H21			H22			H24			H25			H26			H27			H28			
	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	
小国	A区分	2.7	2.0	0.7	12.5	10.9	1.6	10.2	9.9	0.3	2.8	2.6	0.2	3.4	3.0	0.4	11.2	10.7	0.5	2.8	2.3	0.3	3.9	3.8	0.3	5.4	5.3	0.1
	B区分	11.6	8.7	2.9	14.3	12.3	2.0	12.9	12.1	0.8	5.0	4.2	0.8	7.3	6.8	0.7	14.4	13.8	0.8	10.4	9.2	1.2	6.9	6.1	0.8	5.6	4.6	1.0
小算	A区分	1.5	1.1	0.4	3.2	3.0	0.2	2.2	2.1	0.1	2.6	2.4	0.2	2.2	2.3	-0.1	1.7	1.7	0.0	1.0	0.9	0.1	1.9	1.9	0.1	1.9	1.8	0.1
	B区分	7.4	5.9	1.5	7.1	6.0	1.1	6.9	6.2	0.7	7.0	6.2	0.8	4.7	4.8	0.1	6.4	6.9	0.8	4.6	4.3	0.3	9.2	9.1	0.1	7.8	7.4	0.4
中国	A区分	4.6	3.5	1.1	5.2	3.8	1.4	4.8	3.3	1.5	3.8	2.7	1.1	4.5	3.5	1.0	3.2	2.4	0.8	3.9	3.1	0.8	2.6	2.6	0.0	2.3	2.0	0.3
	B区分	8.5	5.2	3.3	12.9	8.7	4.2	9.0	5.8	3.4	9.8	6.8	3.0	7.3	4.8	2.5	4.3	2.8	1.5	4.9	3.5	1.4	2.5	2.2	0.3	5.4	4.4	1.0
中数	A区分	6.0	4.1	1.9	8.7	6.6	2.1	6.9	5.1	1.8	8.0	6.3	1.7	3.6	2.7	0.9	6.5	5.3	1.2	5.6	4.3	1.3	3.6	3.7	-0.1	7.0	6.3	0.7
	B区分	19.5	14.4	5.1	17.4	13.4	4.0	13.0	9.7	3.3	24.8	19.3	5.5	16.1	13.1	3.0	20.4	16.7	3.7	13.4	10.9	2.5	15.8	15.3	0.5	16.0	14.7	1.3



(1) 学力調査結果の概要

小学校については、国語A区分で改善が見られたものの、他の教科・区分では、全国との差がやや拡大した。
 中学校については、昨年度に比べると、全国との差が拡大したものの、これまでの経年で見ると、全ての教科・区分で改善傾向にある。

○ 平均正答率の全国との差

小学校：最小-0.7ポイント 最大-2.4ポイント
 中学校：最小-0.5ポイント 最大-3.2ポイント

○ 無解答率の全国との差

小学校：ほぼ全国平均に近づいた状況であるが、国語B区分に課題が見られる。
 中学校：改善傾向にあるものの、昨年度に比べると全国との差は拡大した。

(2) 学習状況調査結果の概要

○ 調査結果の活用が定着

全国学力・学習状況調査等の結果を、学校全体で教育活動の改善のために活用した小中学校が増加し全国を上回った。また、分析・検証を通じて、全教職員が学力傾向や課題を共有する学校が増加した。

○ 授業における子どもの主体的・協働的な学習活動に課題

授業の中で話し合う活動について、小中学校とも取組みが進んでいるが、小学校では学校と児童の意識の間にズレがある。

○ 基礎的・基本的な事項の定着に課題

授業において、基礎的・基本的な事項の定着及び反復練習の取組みを「よく行った」と回答する学校が昨年度に比べ減少している。

○ 家庭における学習に課題

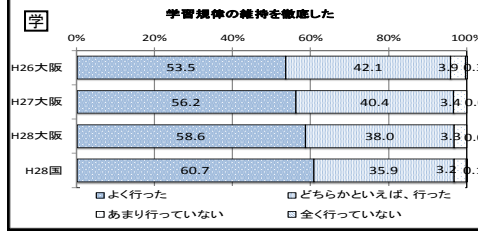
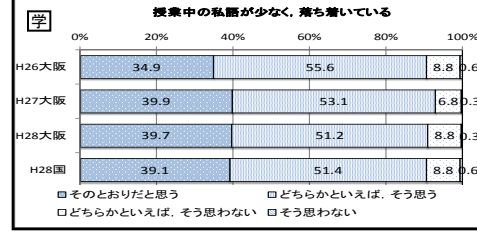
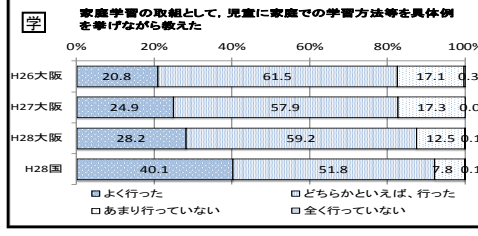
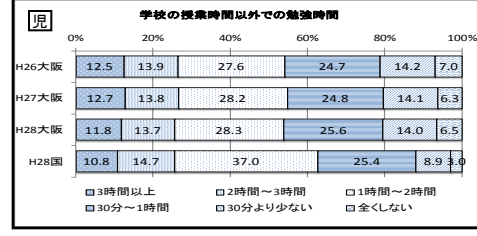
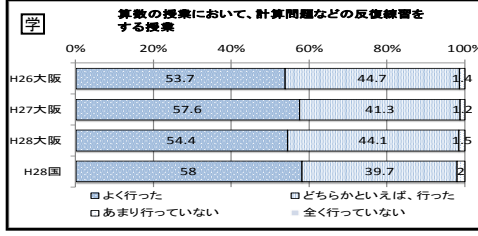
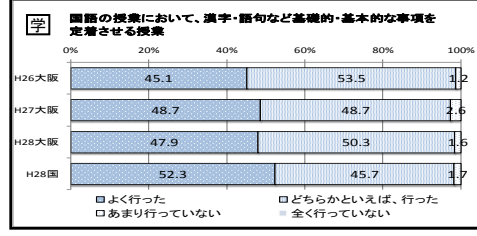
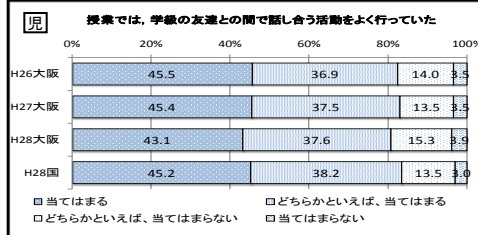
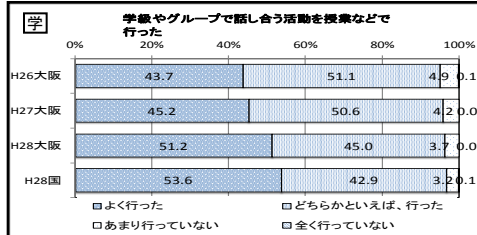
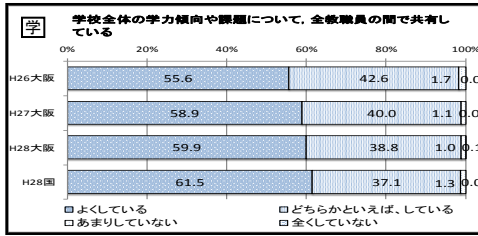
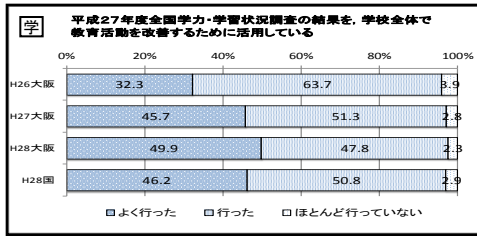
授業以外の学習時間が、30分未満の子どもについては、依然として全国との差が大きい。また、小中学校とも家庭学習の方法を具体的に教える取組みが全国を下回っている。

○ 落ち着いた学習環境の学校が増加

小中学校とも、学習規律の維持・徹底に取り組んだ学校が増加した。また、「授業が落ち着いた」との回答が小学校で全国水準で、中学校でも改善が続いている。

小学校

〔学〕. 学校質問紙調査 〔児〕. 児童質問紙調査



中学校

〔学〕. 学校質問紙調査 〔生〕. 生徒質問紙調査

